

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者：
 使用教科書：（美術 I（光村図書））

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】技術、構図構成、素材に対する知識
 【思考力、判断力、表現力等】アイデア、コンセプト、プレゼン力、課題を読み解く力
 【学びに向かう力、人間性等】出席、提出、計画性、努力する力

科目 美術 I の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	・デッサン、色彩、立体に関する基礎的技術力を身につける ・構図、構成力を身につける。 ・素材に対する知識を習得する。	・プレゼンする力を養う。 ・課題を読み解く力を養う。	・欠席しない。 ・提出期限を守る。 ・計画性をもつ。 ・努力する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	デッサンの基礎練習（グラデーション課題） 【知識及び技能】 鉛筆表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 立体表現に必要な、明暗表現に関すること、描画材に関する基礎を学ぶ。明暗の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、画用紙、鉛筆他	知技：鉛筆表現の特性を生かすとともに色や質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	8
	デッサンの基礎練習（立方体課題） 【知識及び技能】 鉛筆表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 立体表現に必要な、明暗表現に関すること、遠近法に関することや、描画材に関する基礎を学ぶ。明暗や遠近法の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、画用紙、鉛筆他	知技：鉛筆表現の特性を生かすとともに色や質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	8
	色彩と文字表現の基礎練習（フォント制作課題） 【知識及び技能】 色彩表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 文字のフォント制作に必要な統一感やバランスなどとともに、色彩表現をする上での混色方法や色彩の基礎知識、塗り方などを学ぶ。 ・教材 教科書、ケント紙、アクリル絵の具他	知技：文字の統一感、全体のバランスに関して表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	16
2 学 期	デッサンの基礎練習 【知識及び技能】 鉛筆表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 立体表現に必要な、明暗表現に関すること、遠近法に関することや、描画材に関する基礎を学ぶ。明暗や遠近法の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、画用紙、鉛筆他	知技：鉛筆表現の特性を生かすとともに色や質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	8
	立体表現（粘土課題） 【知識及び技能】 粘土表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 人物を表現するのに必要な人体構造、粘土の特性などを活かした表現を学ぶ。 ・教材 教科書、粘土など	知技：人物表現における人体構造の把握と粘土の特性を生かして立体表現をしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	16
3 学 期	デッサン（静物画課題） 【知識及び技能】 鉛筆表現の知識・技術を養う 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを伝える力を養う 【学びに向かう力、人間性等】 計画性をもって取り組む力を養う	・指導事項 静物画表現に必要な、明暗表現に関すること、遠近法に関することや、描画材に関する基礎を学ぶ。明暗や遠近法の基礎事項を理解し、対象の形態感を捉えた表現を学ぶ。 ・教材 教科書、画用紙、鉛筆他	知技：鉛筆表現の特性を生かすとともに色や質感などの表現を工夫し創造的にあらわしている 発鑑：自他の表現について客観的に言葉で伝えることができる 態表：主体的に対象物を見つめ表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	14
							合計 70

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術 2

教科：芸術 科目：美術 2 単位数：2 単位
 対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組
 教科担当者：
 使用教科書：（美術 2（光村図書））

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】技術、構図構成、素材に対する知識
 【思考力、判断力、表現力等】アイデア、コンセプト、プレゼン力、課題を読み解く力
 【学びに向かう力、人間性等】出席、提出、計画性、努力する力

